

平成 21 年 7 月 21 日  
大阪ウォーターフロント開発(株)広報チーム  
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1  
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551  
<http://www.kaiyukan.com/>  
(担当：松原、齋部、西村、田井、鈴木)

## 海遊館のペンギンたちはベビーラッシュ！ 第二弾 ジェンツーペンギンの赤ちゃんが誕生！ イワトビペンギンの赤ちゃんと同時公開中！

大阪市港区の海遊館では、平成 21 年 7 月 19 日（日）に、「南極大陸」水槽で、ジェンツーペンギンの赤ちゃん 1 羽が誕生し、同水槽で公開中です。生まれたての赤ちゃんは、ほとんどの時間を親鳥のおなかの下で過ごすため、愛くるしい姿をはっきりとご覧いただける機会は少ないですが、誕生後 1 週間を過ぎる頃から徐々にご覧いただける機会が多くなります。赤ちゃんの展示期間は、赤ちゃんが歩き回るようになるまでの約 1 ヶ月間の予定です。

海遊館では 6 月 19 日から海遊館ギャラリーにて、6 月 9 日に生まれたイワトビペンギンの赤ちゃんの人工飼育の様子を公開しており、2 種類のペンギンの赤ちゃんを同時にご覧いただけます。

また、現在「南極大陸」水槽では、オウサマペンギン 5 羽も抱卵しており、順調に行けば 7 月末以降、順次ふ化する予定です。

今回ご覧いただける赤ちゃんは、海遊館の「南極大陸」水槽で展示中のジェンツーペンギンが、6 月 13 日に産んだ卵から生まれました。産卵後、両親が交代で卵を温めていたところ、7 月 18 日（土）に嘴打ちが始まり、産卵後 36 日目にあたる 7 月 19 日（日）の 19 時 30 分に、無事親鳥のおなかの下にいる赤ちゃんを確認しました。現在、親鳥がおなかの下で赤ちゃんを守っており、赤ちゃんの姿をご覧になれる機会は少ないですが、一日に数回は顔を覗かせ、親鳥が口移しで餌を与えるなどの微笑ましい子育ての様子が確認されています。赤ちゃんの成長に伴って親鳥が立ち上がって子育てを行うようになるため、誕生後 1 週間を過ぎる頃から赤ちゃんの姿がご覧いただきやすくなります。誕生後 1 ヶ月ほどすると、赤ちゃんは水槽内を歩き回るようになり、水槽内のプールに落ちて溺れてしまうおそれがあることからバックヤードに移動する予定であるため、「南極大陸」水槽での展示期間は約 1 ヶ月間を予定しています。なお、海遊館でジェンツーペンギンの赤ちゃんが誕生したのは、昨年に引き続き通算 5 回目です。



今回生まれたジェンツーペンギンの赤ちゃん

嘴打ち：雛が卵の内側から卵の殻に穴をあけること

### 1.【ジェンツーペンギンの赤ちゃんの展示について】

展示期間	平成 21 年 7 月 19 日（日）から 8 月中旬までの約 1 ヶ月間（予定）
展示場所	海遊館 7 階「南極大陸」水槽 生き物の状況により、展示期間の変更または展示を中止する場合があります。
産卵日	平成 21 年 6 月 13 日（土） *卵の長径約 70mm、短径約 55mm、重量約 120g
嘴打ち日	平成 21 年 7 月 18 日（土）
ふ化日時	平成 21 年 7 月 19 日（日） 産卵後 36 日目
ヒナの大きさ	体長約 10 cm（目測、7 月 20 日現在）

### 2.【ジェンツーペンギンについて】

ジェンツーペンギン 英名Gentoo penguin 学名*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約 75 cmになる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

### 3.【海遊館で飼育しているその他のペンギンについて】

イワトビペンギン 英名：Rockhopper penguin 学名：*Eudyptes chrysocome*

ペンギン科。成長すると体長約 50cm になる。岩場をピョンピョンと飛び跳ねながら移動することからこの名前が付いた。目の上にある黄色い冠羽が特徴。沿岸の岩場の小石や雑草で巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。ペンギンの中では気性がやや激しい。小魚やオキアミなどを食べる。

オウサマペンギン 英名King penguin 学名*Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる 18 種のペンギンの中では、エンペラーペンギンに次いで 2 番目に大きく、成長すると体長約 90 cmになる。南極大陸周辺の島々に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは 1 回の繁殖で 1 個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置き、ダブダブの腹部の皮をすっぽりかぶせて抱卵する。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

アデリーペンギン 英名：Adelie penguin 学名：*Pygoscelis adeliae*

ペンギン科。成長すると体長約 70 cmになる。頭部から背部にかけて黒く、目の周りにある白い輪（アイリング）が特徴。メスはオスに比べ、一回り小さいことが多い。南極大陸とその周辺の島々に生息。自然界での繁殖時期は 10～11 月で、丸い小石で周辺を囲んだ浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。小魚、オキアミなどを食べる。